

## ○空き店舗を活用した優良事例

### 〈コミュニティプラザハッピーハッチ（札幌市）〉

#### ■開店の経過

「コミュニティプラザハッピーハッチ」は、石狩振興局管内の札幌市にあるコミュニティカフェ。平成30年7月に栄町中央商店街振興組合が空き店舗を活用し、開設した。

同商店街は、店主の高齢化等により廃業が増加し、空き店舗が目立ってきているほか、後継テナントについても企業の事務所などが多くなっていた。

このような状況の中、空き店舗を有効活用するとともに、地域の住民が集う場所を作ることが、商店街のにぎわいを取り戻し、地域の活性化に繋がると考え、同商店街振興組合としてコミュニティカフェの出店、運営をすることを決意した。



〔コミュニティプラザハッピーハッチ〕

#### ■空き店舗の活用

活用した空き店舗は、交通量の多い幹線道路2路線の交差点そばに建つ3階建ビルの1階で、商店街の中心部かつ地域の核となる好立地の場所にある。

過去にはファストフード店、衣料品店が入居していたが、近年は空き状態が続いていた。

また、周辺に住宅地が広がっているが、飲食店が少なく、地域住民からも食事ができる場所が求められていた。

#### ■出店に伴う苦勞

出店にあたっては、改修費用等、開業資金の確保が一番の課題であった。一部札幌市の補助金の活用が可能であったものの、組合の資金を投入することが必要であった。

歴代の役員の堅実な運営により、蓄積があったものの、新規出店の採算性は確実ではなかった。

しかしながら、組合員から出店の趣旨に賛同を得て資金の活用をすることができた。

#### ■店舗の特徴

店内には、テーブル席とカウンターのほか、奥には会議室も備えており、どの席でもコミュニティスペースとしての利用が可能である。

また、キッズスペースも設けられているため、子ども連れでの利用も可能となっている。

そのほか、15基のレンタルボックスを設置し、有料で貸し出している。各区画では地域の住民による手作りの手芸品、雑貨等を販売しているが稼働率は高く、現在全ての区画が埋まっており、利用希望者からの問い合わせも多く順番待ちの状況である。

また、毎日のように商品が売れており、盛況となっている。



〔レンタルボックス〕



〔日替わり定食〕

### ■現在の営業状況

店ではランチ、カフェメニューを提供しているが、ランチメニューは日替わりで顧客が飽きないように工夫している。

また、野菜を近郊の農家から直接仕入れする等、原材料費を抑え、安価で提供できるよう心掛けている。

飲食店としての主な顧客は近隣住民や、周辺の企業の従業員であるが、高齢者を中心とした地域住民の交流の場として利用されているなどコミュニティスペースとしても活発に利用されている。

また、地域住民に参加いただくことを目的として、講師を招き、折り紙等のクラフト教室や、音楽教室、組合員の医師や薬剤師が講師となった健康教室、音楽コンサート等を開催している。

毎月多くのイベントを開催しているが、参加料は無料又は材料費のみとしている。

参加者の多くが店舗での飲食を行うため、カフェとしての集客にも繋がっている。

教室開催時以外にも、店内のスペースを開放しているため、サークルや地域の会合、散歩の途中の休憩等、様々な利用がある。

### ■今後の展開

「コミュニティプラザ」の名称に馴染みがないためか、新規の顧客がなかなか獲得できていない。また、店構えが飲食店とわかりづらいとの声もあったため、看板やのぼりの掲出を行っているが、今後はさらに SNS を活用した発信を行い、知名度をより向上させていく考え。

また、若年層の来客が少ないため、冬休みや夏休み期間等に子供向けのイベントを行う等、さらなる客層の拡大を図りたい。

さらに、新たな事業として、「くらしの保健室」を開設する予定。店舗奥の会議室を活用し、組合員の医院から週2回程度、看護師の派遣を受け、地域住民の健康相談を受ける。医院側には地域住民の健康状態や医療ニーズを把握できるメリットがある。

今後も地域の交流拠点として、地域活性化に貢献していきたい。



〔店内の様子〕

取材先 ■コミュニティプラザハッピーハッチ（栄町中央商店街振興組合）  
札幌市東区北42条東8丁目1-1 宮川ビル1階  
TEL : 011-374-1888